

# 札幌市都市公園維持管理業務仕様書（その２）

## 手稲稲積公園等

### 1 目的

札幌市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例第 8 条第 2 項の 1 及び札幌市公の施設に係る指定管理者の指定に関する事務処理要綱第 8 第 2 項の 1 規定のとおり、業務の具体的内容等、管理業務の詳細を定める。

### 2 内容

次ページ以降、指定管理者が提出した管理業務の計画書（以下、「計画書」という。）を以って、札幌市都市公園維持管理業務仕様書（その 2）（以下、「仕様書（その 2）」という。）とする。

### 3 留意事項

- (1) 計画書本文における「～します。」及び「～に努めます。」等、計画としての内容については、「～する。」及び「～に努める。」等と読み替えるものとする。
- (2) 業務仕様書（その 2）に記載のあるもので、「札幌市都市公園指定管理者業務仕様書」及び「各都市公園維持管理業務特記仕様書」の内容と異なる業務を行う場合は、軽微なものを除き事前に札幌市と協議の上実施すること。
- (3) なお、計画書において、実施不可能な提案及びその他仕様書（その 2）として、不適当と思われる記載内容は削除している。

様式3

---

## 管理業務の計画書

---

第13公募 手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園



稲積公園グループ

# 目次

<b>1 総括的事項に関する取組</b>	<b>1</b>
(1) 管理運営業務の基本方針及び事業目標	1
(1)－1 基本方針	1
(1)－2 事業目標	5
(1)－3 持続可能な社会の実現に向けた取り組み	7
(2) 平等利用の確保に向けた考え方と取組	8
(2)－1 平等利用確保の方針	8
(2)－2 平等利用確保の取組項目	8
(3) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方等	11
(3)－1 取組についての基本的な考え方	11
(3)－2 緑化協会におけるこれまでの取組・成果	13
(3)－3 当公園におけるこれまでの取組	15
(3)－4 当公園における今後の取組	16
(3)－5 当公園における電力の調達を予定している小売電気事業者	17
<b>2 統括管理業務の実施内容</b>	<b>18</b>
(1) 管理運営組織の確立	18
ア 責任者の配置、組織の整備	18
イ 従事者の確保、配置	27
ウ 人材育成・研修計画	34
エ 労働関係法令の遵守、雇用環境の維持向上	38
(2) 管理水準の維持向上に向けた取組	43
(2)－1 組織的な情報共有の取組	43
(2)－2 業務の見直し等の組織的な取組	44
(2)－3 管理における情報共有と業務の改善	46
(3) 第三者に対する委託の方針	49
(3)－1 具体的な再委託業務	49
(3)－2 再委託の適正確保のための具体的方策	50
(4) 市民との協働、地域等との連携による取組	51
ア 市民との協働や地域等との連携	51
イ 札幌市等との連絡調整	56
(5) 財務	57
(5)－1 資金管理に関する基本的な考え方	57
(5)－2 現金等取扱に関する基本的な考え方	57
(5)－3 現金取扱規程	57
(5)－4 現金等取扱に関する事故防止システム	58
(5)－5 インボイス制度について	58
(5)－6 現金等取扱に関して、事故・不祥事が発生した場合	58
(6) 苦情対応	59
(6)－1 苦情等対応の基本的な考え方	59
(6)－2 苦情等対応の具体的な手順	59
(6)－3 苦情等の対応システム・フロー	61
(7) 記録・モニタリング・報告・評価	62
(7)－1 記録・モニタリングに関する基本的な考え方	62
(7)－2 セルフモニタリングの具体的な実施方法	63
<b>3 施設・設備等の維持管理に関する業務の実施内容</b>	<b>64</b>
(1) 維持管理業務計画	64
(1)－1 総括的事項	64
(1)－2 施設・設備の維持管理	67
(1)－3 植物管理	81
(2) 仕様書等との差異	90
(2)－1 維持管理業務特記仕様書・基準表との内容・数量の差異	90

(3) 防災業務計画.....	92
(3)－1 防災業務の実施方針及び役割分担.....	92
(3)－2 防災訓練計画.....	95
(3)－3 事故等への対応方法.....	95
(3)－4 消防法への対応.....	100

#### 4 事業の計画及び実施に関する業務の実施内容 102

(1) 都市公園の利用促進に関する取組と実施計画.....	102
(1)－1 取組の基本的考え方.....	102
(1)－2 具体的な取組の実施計画.....	102
(2) マナー啓発に関する業務と実施計画.....	108
(2)－1 取組の基本方針.....	108
(2)－2 具体的取組の実施計画.....	109

#### 5 利用者サービス等に関する取組 112

(1) 利用促進計画.....	112
(1)－1 利用者サービスの基本方針.....	112
(1)－2 有料公園施設の利用促進計画.....	113
(1)－3 業務の実施要領.....	114
(2) 自主事業への取組.....	115
(2)－1 取組の基本的な考え方.....	116
(2)－2 取組の具体的内容.....	117
(3) 公園の課題把握及び理想像の実現.....	120
(3)－1 公園の課題.....	120
(3)－2 公園の理想像と、実現に向けた取り組み.....	120

#### 6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について 122

(1) 既存サイトの継続使用によるアクセシビリティ確保.....	122
----------------------------------	-----

#### 7 類似業務の実績 123

(1) 指定管理業務の実績.....	123
(1)－1 リゾート開発.....	123
(1)－2 緑化協会.....	123
(2) 公園・緑地等における維持・管理業務、その他緑化関連事業の実績.....	123
(2)－1 リゾート開発.....	123
(2)－2 緑化協会.....	124
(3) 当協会の業務における成果の代表事例.....	125

#### 8 札幌市内の企業等の活用について 130

(1) 活用についての考え方.....	130
(1)－1 札幌市内の企業・団体を活用する理由.....	130
(1)－2 札幌市内の企業・団体の中での優先事項.....	130
(2) 活用に向けた具体的な取組.....	130

#### 9 その他（都市公園の管理運営に関する提案事項） 131

(1) 適正な業務執行について.....	131
(1)－1 個人情報適正な取扱いについて.....	131
(1)－2 円滑な引継ぎ対応について.....	131
(2) 当公園の管理運営についての提案.....	131
(2)－1 公園・プール施設等の修繕、処置.....	131



## 1 総括的事項に関する取組

### (1) 管理運営業務の基本方針、事業目標

都市公園の管理運営に関して、施設の設置目的及び基本的方向性、機能を実現するとともに、市民サービスの向上、経費の縮減を図る上での基本方針、事業目標を記して下さい。

## 1 総括的事項に関する取組

### (1) 管理運営業務の基本方針及び事業目標

#### (1) - 1 基本方針

##### ■ 手稲稲積公園の特徴

手稲稲積公園は昭和 56 年、札幌市内で二番目に整備された運動公園です。18.2ha の面積を有し、雄大な手稲山の自然を間近に眺めながら、テニスや野球、パークゴルフなどのスポーツに親しむことができます。

特にテニスコートは札幌市内公園施設では最大の全 16 面を有し、全市・全道規模の大会の開催場所として、土日祝日を中心に様々な競技団体や多くの市民に利用されています。

また、夏場の 7 月中旬から 8 月下旬にかけては、道内最大級の屋外レジャープール「ていねプール」がオープンし、市民のレクリエーションや健康増進の場となっています。一方冬は、除雪された園路を利用したウォーキングのほか、スキー山を使って幼児のスキー練習や近隣小学校のスキー学習が行われています。

近隣住民にとっては年間を通して様々な活動が楽しめる公園として、札幌市民にとっては JR 駅に近くて利便性のよい、「ていねプールのある公園」として親しまれています。



## 北発寒公園の特徴

手稲稲積公園と同じく昭和 56 年に開設した北発寒公園は、手稲区の北東部に位置し、下手稲通に面した新発寒地区の住宅街の中の面積 4.2ha の地区公園です。小学校が近いことから子どもの利用が多く、また隣接する商業施設を訪れた子ども連れの買い物客や、近隣西区住民の公園利用も多く見られます。

園内には、ゆったりとした芝生広場が広がり、野球場やテニスコート（砂入り人工芝 4 面）、パークゴルフ場などのスポーツ施設が整備されていて、間近に手稲山の雄大な景観を望むことができます。また、夏はお祭りや盆踊りなど地域住民の集いの場としても親しまれている公園です。



## 前田公園の特徴

前田公園は、道道石狩手稲線に面した、手稲区前田地区の中央に位置する約 3.9ha の地区公園です。フジ棚、芝生広場のほか、野球場、スキー山があり、子どもたちに人気のあるコンビネーション遊具や、夏に水遊びのできる噴水等も整備されています。

この公園も商業施設に隣接し、近くに小学校があるほか、公園北側に団地もあり、多くの方に利用されています。また、冬は公園園路が通学路となっており、スキー山もあることから、年間を通して利用があります。

地元の前田地区連合町内会が毎年開催する夏のお祭りの会場となっており、地域コミュニティの交流の場として、重要な役割を果たしています。



株式会社札幌リゾート開発公社（以下、「リゾート開発」といいます。）と、公益財団法人札幌市公園緑化協会（以下、「緑化協会」といいます。）は、手稲稲積公園・北発寒公園・前田公園（以下、「当公園」といいます。）の効果的な管理運営を目指して、稲積公園グループ（以下、「当グループ」といいます。）を組織しました。

当グループの主要な業務の分担は次のとおりです。

- ・ リゾート開発  
代表団体として、手稲稲積公園内施設「ていねプール」の運営、維持管理業務を担当
- ・ 緑化協会  
当公園の「ていねプール」以外の区域の総括的な管理運営業務を担当

当公園の特徴を最大限に生かして、多くの市民に利用していただけるよう、当グループでは、構成員である緑化協会の「理念」と、運営方針に掲げる「公益性「5つのK」」を基とした、次の基本方針に従って、当公園の管理運営を行っていきます。

### 公益財団法人札幌市公園緑化協会の「理念」と「運営方針」

#### 「理念」

私たちは、札幌市民との相互信頼のもと、みどりを通じた心豊かな持続可能なまちづくりの実現と、みどり豊かな札幌の次代への継承に貢献します。

#### 「運営方針」

上記理念の実現のため、次の『5つのK』を柱とし、指定管理者として公園の価値と市民の満足度の向上につなげます。

### 「5つのK」

#### 公平

公園・施設でのサービスの提供においては、平等・公平を最優先して、単なるサービスに留まらず、誰に対しても思いやりと感謝にあふれた真のホスピタリティを目指します。

#### 公開

社会情勢の変化や市民のニーズに対して迅速で的確な対応をとり、公正で透明性のある、開かれた公園・施設の運営に努めます。

#### 効率

長年の公園・施設管理において培った実績・ノウハウを基に、長期的な視点と即対応の視点の両面から、公園・施設の効率的・効果的な管理運営を行い、経費の削減と安定した質の高いサービスを実現します。

#### 協働

ボランティア等の市民協働による公園・施設管理を推進するほか、ファン、リピーターを増やす取組により、公園・施設を核として地域の人や資源のつながりを創り出すことで、地域の活性化に貢献します。

#### 環境

環境マネジメントシステムの運用により、環境負荷低減や生物多様性保全への取組を維持・向上させ、市民の財産であるみどりを次代へ継承します。

## 当公園管理運営の基本方針

1. 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高めます。
2. 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供します。
3. 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供します。
4. コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸団体・機関との連携・協働を推進し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高めます。
5. 市民の健康づくりの拠点として、運動やスポーツ、遊び等の公園利用を促進し、公園の価値を高めます。

また、リゾート開発は、「企業としての自立を確立するとともに、顧客・株主・社員・地域との共存共栄を図り、事業を通じ社会の発展に貢献する」ことを企業理念として掲げています。これを達成するために、ていねプールにおいては上記に加え、次の基本方針にしたがって施設の管理運営に取り組みます。

## ていねプール管理運営の基本方針

6. 当施設の営業は常に危険を伴うことから、利用者の安全確保を最優先として管理運営にあたります。
7. 道内最大級の屋外レジャープールとしての特徴を最大限発揮させることにより、市民のレクリエーション活動並びに健康増進に貢献します。
8. 市民が比較的低廉な価格で利用できるよう、コストの節減と効率的運営に努めます。
9. 当施設は公園の一部であることを認識し、公園全体の管理との調和に配慮します。



## (1) - 2 事業目標

当公園の管理運営にあたっては、前述の特徴を踏まえ、当グループの基本方針を基に次の6つの事業目標を立て、各種の事業に取り組みます。

### 《ていねプール》

#### 事業目標1 プールの安全管理の徹底

- ① 利用者が安全に遊泳できるように、十分な監視員を配置します。
- ② 厚生労働省が通知する「遊泳用プールの衛生基準」に基づき、日常的に水質管理を行います。
- ③ 文部科学省、国土交通省が策定した「プールの安全標準指針」に基づき、安全管理を徹底して行います。
- ④ 事故・災害発生時に適切に対応し、負傷者の応急処置ができる態勢を整えます。

#### 事業目標2 質の高いサービスの提供

- ① 従業員による場内巡視と警察との緊密な連携等により、犯罪防止に努めます。
- ② プールサイド、トイレ、ロッカー室、更衣室等の点検清掃をこまめに行い、清潔な施設管理に努めます。
- ③ 忘れ物、盗難、迷子、苦情及び電話での問い合わせ等にきめ細かく対応します。
- ④ アルバイトを含め従業員教育を徹底し、サービスの向上に努めます。

### 《その他当公園施設》

#### 事業目標3 健康づくりやスポーツを軸とした公園の価値の向上

- ① 公園のみどりに囲まれたスポーツ施設を良好な状態に維持管理し、市民が気軽に気持ちよくスポーツを楽しめるよう、利用者ニーズに合わせたサービスを提供します。
- ② 四季を通じた市民の健康づくりの場としての魅力を高めるとともに、ノルディックウォーキングやテニスの講習会など、スポーツへの新たな参加機会を提供します。
- ③ 当公園で多数開催されるスポーツ大会において参加者が安全に楽しめるよう、スムーズな大会運営への協力・支援をします。
- ④ 公園の豊かなみどりを利用した、子どもや主婦層から高齢者まで幅広い年齢層の方が安心して参加できる交流イベントや講習会を企画・開催します。

#### 事業目標4 地域との連携

- ① 近隣の小中学校の体験学習の場としての利用など、学校教育での公園利用を積極的に受け入れ、サポートします。
- ② 町内会や関係団体との連携・協働による催しやイベントなど、地域に根ざした公園利用の促進を図ります。
- ③ 地域の防犯・防災組織に積極的に参加し、地域住民とともに安全・安心な地域づくりに取り組みます。
- ④ JR 稲積駅と住宅地を結ぶ生活道路となっている園路の冬期間の一部除雪や、園路灯照度を保つための樹木剪定などを継続して行い、地域の声をよく聴き、安心して利用できる公園とします。
- ⑤ 周辺環境と調和し、公園内外の景観に配慮した樹木等の維持管理を行い、地域に憩いと安らぎをもたらす景観づくりを進めます。

#### 事業目標5 効率的な維持管理による施設の長寿命化と環境負荷の低減

- ① 園内施設については、計画的な予防保全と事後保全を組み合わせることで修繕等を行うライフサイクルコストの縮減と施設の長寿命化を図ります。
- ② 冬期間の安全対策として、積雪前の施設養生、積雪状況に応じた施設の雪下ろしを行います。
- ③ 利用者や地域住民が安全に安心して利用・生活ができるよう、化学農薬の使用を極力抑制するとともに、園内で発生する植物残渣の堆肥化や剪定枝のチップ化など、園内植物のリサイクルに積極的に取り組み、環境への負荷を低減します。
- ④ 特定外来生物オオハングソンソウの発見・駆除を行うなど、生物多様性に配慮した公園管理を行います。
- ⑤ 環境負荷低減の施策については、緑化協会の環境マネジメントシステムに基づき適切に運用します。

#### 事業目標6 開かれた公園管理体制の構築

- ① 地域の中で公園の果たす役割を考え、公園の価値を高めていくことを目指して、町内会、まちづくりセンター、幼稚園、学校、各種市民団体等が参加する「手稲稲積公園利活用協議会」を引き続き開催し、開かれた公園管理を推進します。



### (1) - 3 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

緑化協会は「持続可能な2030年までの開発目標（SDGs）」に賛同し、将来にわたって、誰もがやすらぎや生きる喜びを感じられる場所を提供できるよう、公園を安全・快適に保ち、環境保全や健康・福祉等の取組を積極的に実施します。



#### 緑化協会のSDGsへの主要なアクション

<p><b>適切な公園管理</b></p>	<p><b>誰もが利用しやすい環境づくり</b></p>	<p><b>環境保全 環境教育</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づく公園管理</li> <li>・災害対応</li> <li>・人や環境にやさしい植物管理</li> <li>・レクリエーションや交流の場の提供</li> <li>・人と人、人と緑のつながりづくり 等</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平等利用の確保</li> <li>・バリアフリー対応</li> <li>・多言語対応</li> <li>・接遇研修 等</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希少植物の保護</li> <li>・観察会</li> <li>・環境展示</li> <li>・子どもたちやボランティアによる調査</li> <li>・小学校等の実習受入</li> <li>・侵略的外来種防除 等</li> </ul> 
<p><b>気候変動対策</b></p>	<p><b>資源の有効利用</b></p>	<p><b>働きやすい環境づくり</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量の削減</li> <li>・冷暖房の節約</li> <li>・エコドライブ</li> <li>・産業廃棄物の適正な処理</li> <li>・フロン類の適正使用</li> <li>・ボイラーの適正管理</li> <li>・グリーン購入</li> <li>・雪の利活用</li> <li>・雨水浸透型花壇 等</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物リサイクル (堆肥、チップ、クラフト素材)</li> <li>・廃食油回収</li> <li>・機械等の長期利用 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント防止</li> <li>・安定雇用</li> <li>・子育て支援</li> <li>・女性の活躍</li> <li>・研修助成制度 等</li> </ul> 

個別の取り組みについては、1 (2) 平等利用の確保に向けた考え方と取組 (P.8)、1 (3) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方 (P.11)、3 (1) 維持管理業務計画 (P.64)、4 事業の計画及び実施に関する業務の実施内容 (P.102)、5 利用者サービス等に関する取組 (P.112) に詳記します。

(2) 平等利用の確保に向けた考え方と取組

都市公園における平等利用の確保の方針及び取組項目を記してください。

## (2) 平等利用の確保に向けた考え方と取組

すべての利用者に対して公平・平等・公正なサービスを提供することは、公共施設である公園の管理運営において最も重要な基本事項であると考えます。

当グループでは、当公園において平等な利用機会を確保するため、次のとおり方針を定め取組みます。

### (2) - 1 平等利用確保の方針

当グループは、公の施設の利用について規定した、地方自治法第 244 条第 2 項（正当な理由なく利用を拒んではならない）、及び第 3 項（利用に際して不当な差別的取扱いをしてはならない）を遵守し、年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられることのないよう、全スタッフに対する教育を徹底して、公園・施設の適切な管理運営を行います。

特に、配慮が必要な障がい者に対しては、障害者差別解消法の趣旨に則り、公園・施設において不当な差別的取扱いをすることのないよう、また、施設等の利用の際の要望・申し出に進んで対応し、合理的配慮を行うことで「困りごと」の解消に努め、共生社会の実現に寄与します。

### (2) - 2 平等利用確保の取組項目

#### ■ スタッフへの教育指導の徹底

当グループでは、当公園における平等利用の確保のため、主として利用者対応を行うスタッフに接遇・サービス研修、公の施設に関する講習を実施します。公園という公共の場において、「思いやりと感謝の気持ちで等しく利用者に接する」というスタッフの基本的な心構えを学び、様々な状況への対応について習得し、平等利用の確保を図ります。

また、特定の個人・団体に対する不当な利用拒否・利用制限などの差別的取扱いや、逆に便宜を図る等の特別扱いや優遇など、対応に注意を要する具体的事例をミーティング等において全スタッフで学び、接遇のレベルアップに努めます。

#### ■ 違法・不正行為の防止

日常の管理において、犬のノーリード、落書き、放火、器物の損壊、植物の盗掘、ゴルフ、花火や火気の使用、無許可の占用使用など、公園における様々な違法・不正行為や不審行為に対して、それぞれの予防対策を検討して実施します。

上記のような行為が発生した場合は、迅速に状況を把握した上で、指導、通報・報告、事態の打開・原状復旧等の対応を適切に行い、必要な再発防止策を講じます。

#### ■ マニュアルの作成・共有

公園・施設、特に有料施設の利用にあたっては、取扱マニュアルを作成し、全スタッフに周知徹底します。

## その他の具体的取組

利用者が可能な限り同じサービスを受けられるように、公園管理の質を一定水準に保つとともに、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点も意識して業務に取り組みます。

### ① 配慮が求められる方々に対する利用環境の整備

- a 公園管理事務所に車いすを2台配置し、適切な点検整備に努めるとともに、気軽にお借りいただけるよう、貸出し情報をホームページや園内掲示でお知らせしています。
- b 障がい者専用の駐車スペースについては、手稲稲積公園に4台分確保しており、支障なくご利用いただけるよう周知に努めています。
- c 会話によるコミュニケーションが困難な状況に備えて、筆談、コミュニケーションボード等による利用案内を準備します。
- d 園内の案内表示等については、誰にでも分かりやすいピクトグラムや、配色を含めたユニバーサルデザインの導入、バリアフリー情報を含むマップの提供などにより、誰もが利用しやすい園内環境の創出・維持に努めます。
- e アンケートは幅広い年齢層を対象に実施し、子どもの意見も積極的にくみ上げて公園利用に反映させていきます。
- f スタッフのネームプレートはひらがなで大きく表記し、小さな子どもでも名前が確認できるようにしています。

### ② 利用環境の継続的改善と適切な情報提供

- a 園路の不陸や段差などは、日常の巡視点検によりいち早く把握し、迅速に復旧・改善を行うことで、安全で平等な利用環境の確保に努めます。
- b 故障や修繕により施設等が利用できない場合は、復旧時期や代替利用の案内など必要な情報提供に努めます。
- c 公園利用届等の情報に基づいて管理作業のスケジュールを調整するとともに、利用者が過度に集中しないよう、可能な範囲で利用調整をお願いします。
- d 公式ホームページを活用し、公園利用の基本情報のほか、四季折々の景観や樹木・草花の情報、園内で実施するイベント・プログラムの情報など、利用者のニーズに応える情報をわかりやすく提供します。
- e インターネットを利用されない方に不公平感が生じないよう、広報誌「札幌市からのお知らせ」、マスコミ、フリーペーパー等への情報提供、園内掲示、ニュースレターなど、多様な手段による情報発信に努めます。

### ③ 有料運動施設の利用者対応における平等利用の確保

- a 有料施設の利用者対応においては、「札幌市公共施設予約情報システム」及び「有料運動施設の優先使用に係る取扱要領」に基づき、公平な対応に努めます。
- b 予約システムをしっかりと理解し、公平で円滑な利用者対応に努めます。
- c 予約時間には準備・片付けの時間を含むことを利用者に説明し、協力を依頼します。

④ イベントや自主事業等における平等利用の確保

- a 講習会等の参加受付は、事前に幅広く情報提供を行うなど、不公平感を与えないように対応します。
- b イベントなど、通常とは異なる公園利用の際には、一般の利用者に不都合や不利益が生じないよう、事前にイベント内容を周知するとともに、当日の対応などを適切に実施します。

⑤ 利用者の声の適切な反映やマナー啓発等の取組

- a 公園・施設の利用に関する苦情や改善等の要望を受けた時は、その内容を記録・整理し、利用環境の改善に役立てます。また、これら苦情や要望の申し立てによって差別や取扱いの差異が生じないよう、適切な対応に努めます。
- b 誰もが気持ちよく公園・施設を利用できるよう、利用者のマナー向上に取り組みます。具体的な取組内容は、本計画書「4（2）マナー啓発に関する業務と実施計画」（P.108）に記載しています。

### (3) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方等

エネルギーの管理・合理化、温室効果ガス発生管理・抑制、環境配慮に向けた取組についての基本的な考え方と、これまでの取組実績や具体的なノウハウなどアピールしたい内容等を記入してください。

## (3) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進に向けた基本的な考え方等

人類の活動が原因となり進行している地球温暖化は、一朝一夕には解決できない大きな問題ですが、地球上のすべての人、とりわけ大きな影響を及ぼしてきた先進国の人々は、温暖化がもたらす様々な影響について意識し、その防止に向けて一人ひとりができることに取り組む責務があります。

札幌市では平成 20 年に「環境首都・札幌」宣言を世界に向けて発信し、平成 30 年には「第 2 次札幌市環境基本計画」を策定し、2050 年に向けた札幌市の環境の将来像として、『次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPP\_RO」』を掲げています。

また、令和 2 年 2 月には、「ゼロカーボン都市」達成に向けた宣言、令和 3 年 3 月には、「札幌市気候変動対策行動計画」を策定するとともに、「札幌市気候非常事態宣言」を発し、持続可能な脱炭素社会の構築に向け、気候変動対策への取組強化を呼びかけています。

今後は生物多様性の保全や、資源・エネルギーの有効活用などの要素に加え、市民の意識や取組をより一層高め、市民協働による「持続可能なまちづくり」を推進することが特に求められています。

緑化協会では、平成 17 年度に環境マネジメントシステム（以下、「EMS」と略します。）を構築して運用を開始し、平成 18 年 3 月に ISO14001 の認証を取得しました。

そして、平成 25 年 5 月には北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）の認証（ステップ1）を取得し、ISO14001 から切り替えて、自主性・効率性を重視した環境活動の取組を継続しています。

緑化協会は、市民の財産である公園の管理において、市民の「環境に対する厳しい目」に応えていくとともに、公園利用を通じて、市民に環境について考え、学び、行動する機会を提供する必要があると考えます。

当公園の管理運営においても、緑化協会が運用する EMS に基づいて、環境への配慮に積極的に取り組みます。



### (3) - 1 取組についての基本的な考え方

当公園及び周辺地域は緑豊かな環境を有することから、これら環境の保全と環境意識の啓発は公園管理において重要であり、当公園は、市民にとってかけがいのない特徴のある緑空間であることから、この良好な環境の保全と市民利用の両立を図れるよう、しっかりした環境配慮の意識を持って管理を行っていきます。

緑化協会では、環境に配慮した公園管理の実施にあたって、次ページに示す「公益財団法人札幌市公園緑化協会環境方針」をその基本的な考えとします。

## 公益財団法人札幌市公園緑化協会 環境方針

### 基本理念

「緑」に象徴される植物は、長い年月をかけて大気に酸素を供給するとともに食物連鎖の基盤として、多様な生命の営みを支えてきました。私たちが生活を営む人間社会も、この「緑」を抜きには成り立ちません。

人間社会は、特に 20 世紀後半以降の科学技術の急速な進歩によって、非常に便利で豊かになりました。しかし、人口の増加や経済活動の拡大などによって、化石燃料などの地球資源は急速に消費され、その過程で発生する二酸化炭素や各種の有害な廃棄物などが増加しました。その結果、地球温暖化、大気汚染、海洋汚染、生物種の減少・絶滅など、地球規模の環境破壊が急激な速度で進行しています。

私たちは、現在の豊かな生活を無条件には享受できない状況に置かれています。私たち人間が生きて生活する地球の環境を守り、次の世代に引き継ぐ責務を負っていることを一人ひとりが自覚して行動する必要があります。

【公益財団法人札幌市公園緑化協会】は、公園緑地の良好な管理運営と都市緑化の普及啓発を図ることによって、市民に快適な生活環境を提供するための事業を推進します。同時に、私たちは市民とともに、「緑」の創出・保全を図ることで地球環境の改善に最大限努力します。

この取組みを適切に維持するために、当協会では環境マネジメントシステムを構築し、運用します。

### 基本方針

「緑」を通じた快適な生活環境づくりと地球環境の保全に寄与するため、次の方針に基づき、日々の事業活動に取り組みます。

#### 1 環境経営の推進

地球環境への影響低減・環境保全への取組みが、当協会の事業目的の達成にも資することを目指した「環境経営」を推進するため、環境マネジメントシステムを活用します。

#### 2 環境パフォーマンスの継続的改善

環境目的・目標を定め、その達成に向けて努力するとともに、定期的な検証と見直しを行うことにより、環境パフォーマンスを向上させるための継続的な改善を図ります。

#### 3 環境意識の啓発

当協会の事業活動に関わる人々のほか、広く市民に対して地球環境の大切さを啓発し、環境保全に対する意識の向上、社会的合意形成の強化に貢献します。

#### 4 環境の維持・改善

日常の事業活動においては特に、省資源・省エネルギー、廃棄物の削減及びリサイクルの推進等により、環境負荷の低減と生物多様性の保全に努めます。

#### 5 環境に関する危機管理の徹底

突発的な事故や自然災害によって生じるおそれのある環境への悪影響について、予防措置を講じるとともに、被害を最小限に留めるための取組みに努め、環境汚染に対する危機管理を徹底します。

#### 6 法律等の順守

地球環境保全に誠実に取り組む前提として、環境関連の法律・条例等を順守し、また当協会が同意する外部との環境に関わる取決め等についても、これを守ります。

この環境方針は、職員をはじめ当協会の事業活動に関わる全ての人に周知徹底するとともに、外部に公表します。

2022 年 4 月 1 日

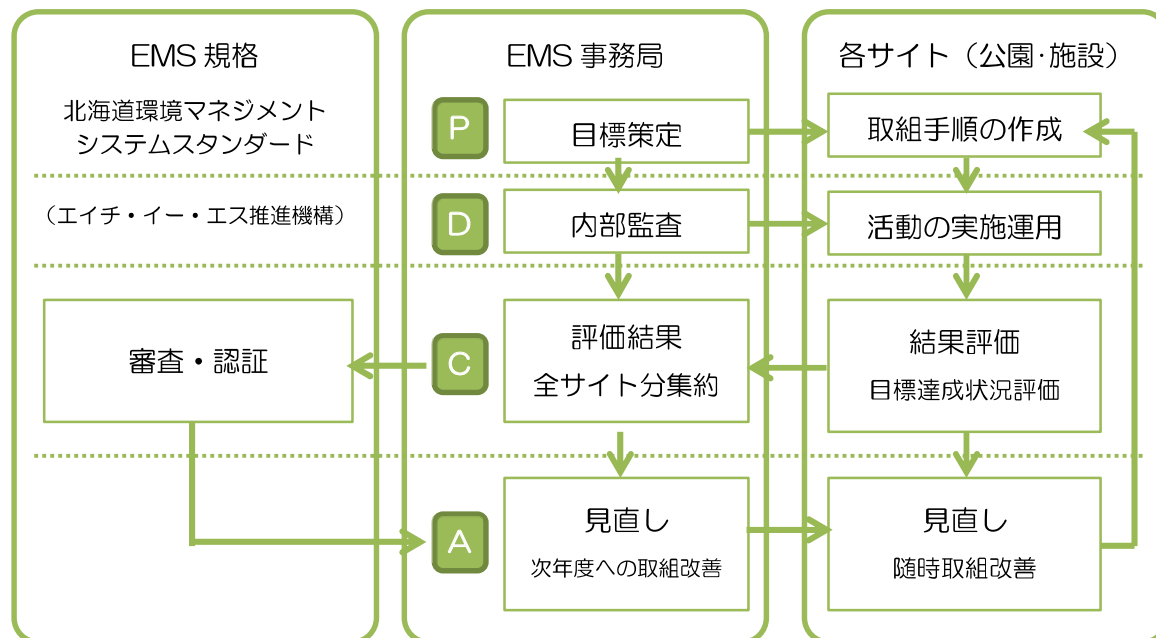
公益財団法人札幌市公園緑化協会  
理事長 近藤 哲也



### (3) - 2 緑化協会におけるこれまでの取組・成果

緑化協会は、EMS において毎年環境目標を設定し、全スタッフの教育・訓練を実施して環境活動に取り組んでいます。

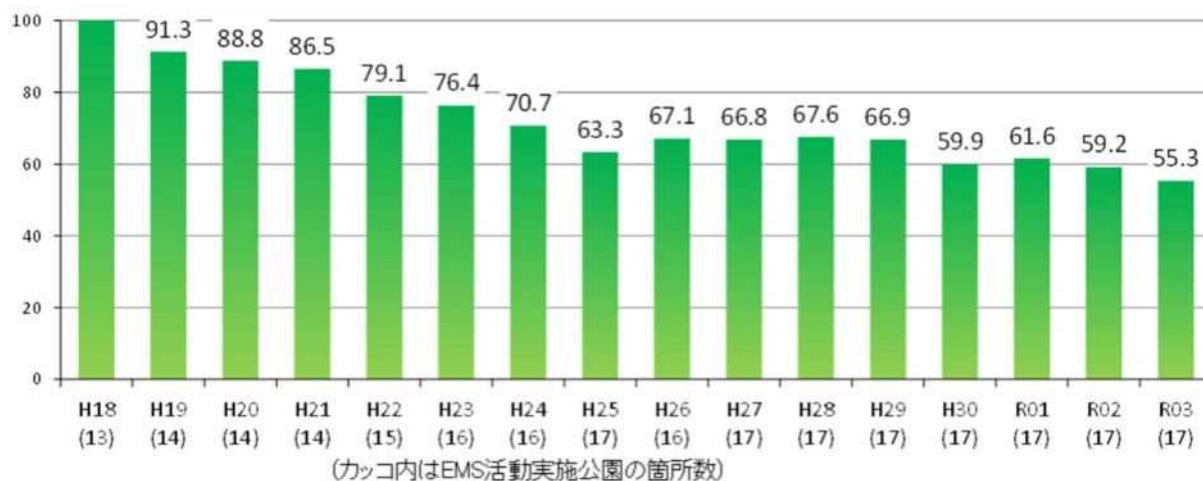
緑化協会EMSにおける環境目標達成に向けた活動の流れ



これまで様々な目標を設定して活動してきましたが、近年は、公園・施設の管理運営における市民協働の推進や、生物多様性保全等の事業内容に即した視点で独自の目標を設定し、効果的な環境活動を目指しています。緑化協会のEMSにおける平成18年度から現在までの目標は次のとおりです。

実施年度	緑化協会EMSの目標
平成18-19	電気使用量削減、事務用品グリーン購入率向上、植物系廃棄物の再資源化 民有地緑化普及事業の利用増、一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増
平成20	電気使用量削減、事務用品グリーン購入率向上 民有地緑化普及事業の利用増、一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増
平成21-23	一般廃棄物排出量削減、緑化講習会等の参加者増、業務改善・新規事業等の提案 時間外勤務時間削減、食用廃油回収量増
平成24	OA用紙使用量削減、ボランティア活動延べ時間増加、特定外来生物の侵入軽減 食用廃油回収量増
平成25-27	電気使用量削減、ボランティア活動延べ時間増加、特定外来生物の侵入軽減 食用廃油回収量増
平成28-現在	電気使用量削減、残業時間削減（電気使用量削減、ワーク・ライフ・バランス推進） 特定外来生物の侵入軽減、食用廃油回収量増

EMSによる環境活動の中でも特にエネルギー使用量の削減は、温室効果ガスを抑制し、経費節減にも直結することから、最優先の課題として取り組んできました。これまで、電気・燃料等の項目別に、各公園で個別に効果的な手順を策定して取り組み、測定結果に基づき常に改善を進めてきた結果、主要公園で指定管理者制度が始まった平成18年度との比較で、令和3年度には以下のとおり44.7%の削減を達成しています。

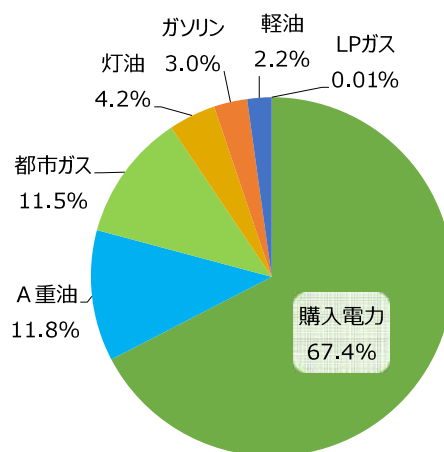


当協会の管理公園・施設におけるエネルギー使用量の推移（平成18年度を100としたEMS活動実施公園・施設の平均値）

エネルギー使用量のうち、最も比率の高い電気使用量については、その抑制を継続してEMSの目標に設定しており、細かな節電の積み重ねやLED照明への転換の推進、公園・施設利用に支障とならない範囲での照明・機器類の運用の見直しなど、細かな節電の積み重ねにより削減に努めています。

化石燃料については、基本的な節約の取組以外にも、環境への負荷が少ないBDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）混合燃料を使用しており、百合が原公園緑のセンター、川下公園リラクスパラザのボイラー燃料にはB10重油（BDF10%混用A重油）を、百合が原公園リゾートレインや一部公園の業務車両の燃料にはB5軽油（BDF5%混用軽油）を導入しています。

また、緑化協会が管理する主要公園・施設に使用済み食用油の回収ボックスを設置して、公園で使用している低環境負荷燃料の原料とすることで、市民がリサイクルの成果を実感し、環境保全意識を高めることにつなげています。



当協会のエネルギー使用量の項目別比率（令和3年度）

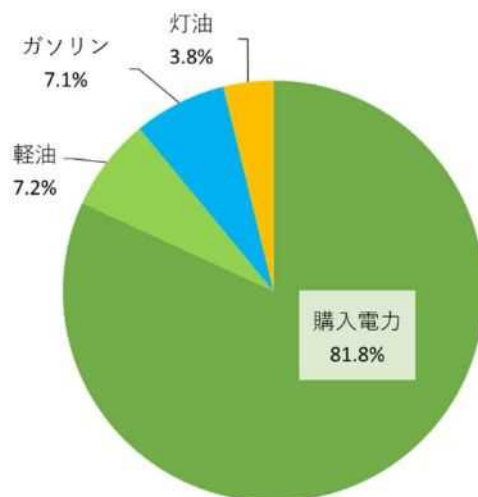
緑化協会は、EMS の認証を取得して環境に配慮した取組を自主的に行っている事業所として、平成 20 年 8 月に「さっぽろエコメンバー」レベル 3 に登録し 3 年毎の更新を続け、現在に至っています。また、平成 21 年 4 月からさっぽろエコメンバー登録事業所は、同時に、北海道が実施する北海道グリーン・ Biz 認定制度「優良な取組」部門の登録事業所になることから、平成 23 年 8 月の更新時には北海道グリーン・ Biz 認定制度において「優良な取組」部門ランク 3 に登録し、同様に更新を続けています。



### (3) - 3 当公園におけるこれまでの取組

当グループでは、これまで当公園の管理においても、EMS に基づき、積極的に環境活動に取り組んできました。エネルギー使用量についてみると、手稲稲積公園では電力が全体の 81.8% を占めており、環境負荷軽減のためには、電力の使用量の抑制が不可欠です。

そこで、EMS の目標に設定している「電気使用量の削減」に積極的に取り組み、園路灯の減灯や不要電力の消灯の徹底、管理事務所の一部 LED 化、自動販売機の省電力機種への転換などの取組効果により、平成 28 年度に平成 24 年度比で約 31% の削減を達成しました。それ以降も節電状態を維持し、令和 2 年度は平成 30 年度比で約 8% の削減など、様々な環境の負荷軽減において大きな成果を上げています



当公園におけるエネルギー使用量の項目別比率 (R3)

### (3) - 4 当公園における今後の取組

令和4年度、緑化協会がEMSで取り組む目標は、次のとおりです。

緑化協会 EMS の環境目標 (R4)
・電気使用量の削減
・ノー残業デーの超過勤務時間の削減
・特定外来生物の侵入軽減
・食用廃油の回収量増加 (当公園のほか一部公園)

今後も、緑化協会のEMSに基づく取組を継続するほか、生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークへの加入を継続し、植物残渣のリサイクル、講習会などを通じての環境教育に取り組めます。その他、環境配慮に関連する具体的な取組として、当公園では次に示した項目について、スタッフ全員で取り組めます。また、スタッフから環境配慮のアイデア、工夫等の提案を募り、積極的に取り入れて改善に努めます。

#### ① 物品やサービスの購入時の取組

項目	具体的取組
グリーン購入	事務用品はグリーン購入法適合品を選択
長寿命の見込める商品の選択	長期的視点での機種選択 (耐久性、メンテナンスや部品交換の容易さ)
地域の産品や企業の積極的選択	地域振興への貢献及びマイレージ (輸送に係る環境コスト) を小さくする考え方での選択

#### ② 物品やサービスの使用時の取組

項目	具体的取組
電力使用量の削減	エコスタイル (服装と温度設定) の実施 屋内照明の積極的な消灯 (不要箇所、外光利用) 就業時刻前、昼休みの消灯 (管理スペース) OA 機器類の適切な節電設定 週1日ノー残業デーを設ける 照明器具の定期的清掃 省エネ型自販機の選択導入 積雪期等の不要な園路灯の消灯
水の使用量の削減	手洗い蛇口、トイレ等の吐出量の調整
OA 用紙使用量の削減	両面コピーの徹底、裏面利用 (メモ用紙等) 電子データ化・電子決裁の推進 勤怠管理システムの導入
化石燃料使用量の削減 (暖房、作業機械)	エコスタイルの実施 (ウォームビズ) BDF 配合燃料の使用 (リリートレイン、作業機械の一部) 暖房器具の適正な運転、点検整備 作業機械の定期点検整備、作業時の出力調整

自動車燃料使用量の削減	環境性能に優れた車種の導入（エコドライブ表示付き車種の一部導入） アイドリングストップの励行 急発進、急加速、空ふかしをしない タイヤ空気圧の点検・調整 経済速度の遵守 不要な荷物を積載したままにしない
-------------	--

### ③ 廃棄物に関する取組

項目	具体的取組
ごみ排出量の削減	自販機業者によるビン・缶・ペットボトル回収 利用者へのごみ持ち帰り協力の周知 ごみ発生量の少ない商品の選択 （簡易包装、繰り返し使用、詰替え等）
植物系廃棄物の再資源化、有効活用	管理等で発生した植物系廃棄物（剪定枝、間伐材）のリサイクル使用 剪定枝、つる、木の実等を工作等の素材に利用

### ④ 生物多様性保全に関わる取組

項目	具体的取組
在来種の保全	在来種の生息・分布状況調査 外来種の調査・駆除
生物多様性保全に関する教育普及	地域の自然、植生、生物等についての教育普及 外来種等の問題に対する普及啓発
減農薬管理	木酢やフェロモントラップなどを活用した植物の病虫害対策
生物多様性に関わる連携	生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークに参加し活動拠点施設として登録

## (3) - 5 当公園における電力の調達を予定している小売電気事業者

当公園における電力を調達している小売電気事業者 2 社は令和 5 年度の「環境配慮評価基準」を満たすことが見込まれることから契約を継続し、当該の小売電気事業者 2 社から電力を調達します。

なお、契約している小売電気事業者が令和 5 年度の「環境配慮評価基準」を満たさなかった場合は緑化協会の規定に則し入札等を行い、環境配慮評価基準を満たす小売電気事業者から電力を調達します。